開講課程	専門課程	開講学科	本科（昼間部）
開講年度	2023	対象年次	1年次・2年次
授業科目名	ヘアカット　VR	科目区分	必修・選択
授業形態	講義・実技	単位・時間数	時間以上
授業の到達目標 及びテーマ	カットの理論を把握したうえで、VRをを駆使して、ワンレングス、レイヤー・グラデーションの特徴と切り方を理解し、自分でデザインしたカットを理論に沿って、展開し、作品制作する。		
使用教材	テキスト・VR機器・カット道具一式・カットウィッグ〇台 ※他授業との兼ね合いでウィッグ台数を調整する。		

授業計画及び 学習の内容					
	1	カット理論		テキスト	ウィッグNo
	2	ワンレングス	水平	S1	1
	3	ワンレングス	前下がり	S2	
	4	ワンレングス	前上がり	S3	
	5	ワンレングス認定練習	水平	S1	
	6	ワンレングス認定試験	水平	S2	
	7	グラデーション	シェーピング	S4	
	8	グラデーション	エレベーション	S5	
	9	グラデーション	ピボッティング	S6	
	10	グラデーション認定練習	エレベーション	S5	
	11	グラデーション認定試験	エレベーション	S5	
	12	レイヤー	フロント	S7	
	13	レイヤー	スクエアー	S8	
	14	レイヤー	セイム	S9	
	15	レイヤー認定練習	スクエアー	S8	
	16	レイヤー認定試験	スクエアー	S8	
	17	刈り上げ	シングリング	S10	
	18	スタイルカット	ミディアム	S11	
	19	スタイルカット	ショート	S12	
	20	自由制作			

成績評価方法	認定試験内容： ワンレングス40分　グラデーション40分　レイヤー40分 自由制作　展開図・作品提出		
授業の特徴	VR技術を駆使して、学生の、技術者目線での技術習得を目指す。		
担当教員	資格	実務教員	担当時数

	授業内容	テキスト		内容
1	カット理論	理論		カット理論のテキストを使用し、ジオメトリックカットを机上で説明、勉強していく。また、シザースの開閉、コームの扱いを実施。VR機器の仕様説明
2	ワンレングス	水平	S1	ワンレングス水平の説明をS1テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使っての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
3	ワンレングス	前下がり	S2	ワンレングス前下がりの説明をS2テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使っての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
4	ワンレングス	前上がり	S3	ワンレングス前上がりの説明をS3テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使っての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
5	ワンレングス認定練習	水平	S1	ワンレングス水平をVR機器を使い復習をする。その後20～30分でのタイムどり数回し、認定試験用の練習をする。
6	ワンレングス認定試験	水平	S1	数回の練習後、認定試験を20分～30分行う。審査基準として、①左右対称②切線水平③イングラデーション④既定の長さ、が正確かをみる。
7	グラデーション	シェーピング	S4	シェーピングによるグラデーションの説明をS4テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使っての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
8	グラデーション	エレベーション	S5	エレベーションによるグラデーションの説明をS5テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使っての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
9	グラデーション	ピボッティング	S6	ピボッティングによるグラデーションの説明をS6テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使っての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
10	グラデーション認定練習	エレベーション	S5	エレベーションによるグラデーションをVR機器を使い復習をする。その後20～30分でのタイムどり数回し、認定試験用の練習をする。
11	グラデーション認定試験	エレベーション	S5	数回の練習後、認定試験を20分～30分行う。審査基準として、①左右対称②グラデーションの幅③全体の繋がり④既定の長さ、が正確かをみる。
12	レイヤー	フロント	S7	フロントレイヤーの説明をS7テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使っての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
13	レイヤー	スクエアー	S8	スクエアーレイヤーの説明をS8テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使っての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
14	レイヤー	セイム	S9	セイムレイヤーの説明をS9テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使っての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
15	レイヤー認定練習	スクエアー	S8	スクエアーレイヤーをVR機器を使い復習をする。その後20～30分でのタイムどり数回し、認定試験用の練習をする。
16	レイヤー認定試験	スクエアー	S8	数回の練習後、認定試験を20分～30分行う。審査基準として、①左右対称②レイヤーの正確性③全体の繋がり④既定の長さ、が正確かをみる。
17	刈り上げ	シングリング	S10	刈り上げの説明をS10テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使っての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
18	スタイルカット	ミディアム	S11	ミディアムスタイルの説明をS11テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使っての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
19	スタイルカット	ショート	S12	ショートスタイルの説明をS12テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使っての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
20	自由制作			今までの授業内容の応用として、学生自身でスタイルを発案し、展開図を描き、スタイルを作成。発表